

合、歩道のない奥多摩街道に出なければならぬ。道路拡幅予定は。  
**市長** 歩行者安全の確保の観点から、優先した整備を東京都に再三要請してきたが、道路形態的に事業実施が難しいので、沿線の関係権利者の合意が不可欠であり、そのためには市の協力が必要との回答であった。

**質問** 通称「丸山下」を通行可能に。  
**市長** 落石、崩壊の危険性が高いので通行止めになっているが、国土交通省の「多摩川水系河川整備計画」にないで整備は難しい。しかし、散策路としての市民の要望が高いので、国の整備計画に位置付けを要請していく。

一方、直売所の農産物は、羽村で採れた、新鮮で安全・安心な農産物であることが定着してきており、直売所のブランドになってきている。  
**質問** 地産農産物の消費について、「地産地消協力店」の認定やPRについての考えは。  
**市長** 市内飲食店でも市内農産物が相

◇市の行財政改革はどこまで進んでいるか  
 ◇市税等の滞納処理について

なかね やすお  
**中根 康雄 議員**

**市の行財政改革はどこまで進んでいるか**

から12番目、実質収支比率は高い方から8番目である。

夕張市の財政破綻後、羽村市は大丈夫

**質問** 経常収支比率はどうか。

かとの声を聞く。社会保障制度維持と

**市長** 91.3%で低い方から14番目である。

市民負担増の抑制、生活不安解消のため

**質問** 財政力指数はどうか。

にも、行財政改革に決断と勇気と実行力が

**市長** 1を超える。と地方交付税の不交付団体となるが、1.062で高い方から9番目である。

が今求められている。そこで何う。

**質問** 職員数の変化はどうか。

**質問** 人件費比率はどうなっているか。

**市長** 直近3年間で16人削減した。常

**市長** 16.9%で低い方から2番目である。

時雇用の臨時職員等は年々微増である。

**市長** 市の財政状況は多摩地区26市などと

**質問** 実質公債費比率と実質収支比率は、

比較しても健全と認識している。今後

**市長** 平成17年度は11%と5%で、実

質公債費比率は多摩地区26市中低い方

も、新たな行政需要への対応や、社会経

市税等の滞納処理について

済状況の変化に的確に対応した行財政運営を行っていく。

行政サービスを行うにも、もともと

る財源の確保が必要となるので何う。

**質問** 市税・負担金等の滞納状況と原因、

処理過程と徴収努力はどうか。

**市長** 平成18年度の滞納額は市税約1

億2千461万円、国保税約1億6千

433万円、介護保険料約883万円。

原因は納税意識の希薄化等が考えられ

る。滞納者には督促状等の送付のほか、

戸別訪問等している。差し押え処分も

実施していく。

**教育長** 平成18年度の給食費の滞納は

247人、約427万円である。管理職

の訪問徴収等で79件47万円ほど収納した。



▲財政課窓口(市役所3階)



▲学童クラブの子どもたち

**幼稚園児保護者への助成金の増額を**  
**質問** 子育て世帯の経済状況が苦しくなる中で、助成金の増額を図る必要があると考えるが。

**市長** 羽村市の助成金は26市中、上位から10番目であり、他市と比較しても遜色ないため、増額する考えはない。

- ◇私立幼稚園等園児保育料助成金について
- ◇学童保育の待機児解消について
- ◇西多摩衛生組合への小金井市のごみ搬入問題等について
- ◇「はむらん」を双葉町三丁目でも利用しやすく

鈴木 拓也 議員

**学童保育の待機児解消を**  
**質問** 学童保育の希望者が増え、待機児が生まれている。解決の見通しは。

**市長** 待機児童の解消策などを検討するため、検討委員会を庁内に設置し、検討するよう指示した。

**質問** 学童クラブの増設は。

**市長** 増設についても検討委員会で検討を始めていく。

**質問** 学校の教室や地域会館などを利用しての緊急対策をとるべきではないか。

**市長** 学校の教室や地域会館を利用し、その対策は難しいと考える。

**小金井市のごみ受け入れについて市民の疑問や不安にこたえた対策を**  
**質問** ごみ受け入れに関する市民の疑問や不安に市長はどうかこたえるのか。

**質問** 小金井市の行政の失敗のつけをなぜ負わなければならないのか。

**市長** 今回の西多摩衛生組合のごみの受け入れは、「多摩地域ごみ処理広域支

- ◇羽村市の産業の活性化として「日本一安全でおいしい水」の活用について
- ◇女性医療の設備の充実について
- ◇3人目以降の子育て支援について

西川 美佐保 議員

**羽村市の産業の活性化として「日本一安全でおいしい水」の活用を**  
**質問** 羽村の地下水をペットボトル詰めにして全国へ売り出す考えはないか。

**市長** 市では平成14年度から譲る過方式により安全でおいしい水道水を供給している。「羽村の水」のPRのため、ペットボトル詰めにし、イベント等で配布するとともに、「羽村ブランド」として市内外へアピールすることを前向きに検討する。

**女性医療の設備の充実について**  
**質問** 公立福生病院の「女性専門外来」の現状について。

**市長** 「女性専門外来」の必要性は理解しているが、福生病院では内科、産婦人科などの医師の確保が緊急課題であり、医師の確保ができれば、取り組んでいくとのことである。

**質問** 女性医師や看護師が働きやすい環境づくりとして、院内保育所の準備について。



▲羽村市浄水場(羽中四丁目付近)

**市長** 看護師等の利用希望が少なく、運営経費の問題から設置は難しいと判断したと聞いている。

**質問** 公立福生病院へのドクターヘリのヘリポートについて。

**質問** 福生病院は3次救急医療機関ではないためその必要性は薄い。ヘリコ

援体制実施協定」に基づく、相互支援であると認識している。

**質問** なぜ10年もの長期間なのか。

**市長** 西多摩衛生組合が小金井市と交わした契約は、平成19年4月1日から平成20年3月31日までの1年間と聞いている。

**質問** なぜ市民への説明や合意が十分なまま決定したのか。

**市長** 西多摩衛生組合では、「羽村九町内会生活環境保全協議会及び瑞穂町環境問題連絡協議会への説明を行い、ご理解をいただくことで決定した」と聞いている。

### ◇事業仕分けで行財政改革の推進を ◇犬の飼育管理とドッグランについて

露木 涼一 議員

#### 事業仕分けで行財政改革の推進を

**質問** 第四次羽村市後期基本計画の重点施策に、「事業仕分けの実施」が計画されている。具体的な取り組みは。

**市長** 実施にあたり、事業一覧作成に着手し始めたところである。その後は、これまで実施してきた行政評価等の経営手法を背景に、羽村らしい方法を検討していく。

**質問** 市場化テスト（官民競争入札制度）の導入検討結果は。

**市長** 現時点では、事業仕分けを先行して実施するよう検討している。

**質問** 佐賀県では「協働化テスト」を創設し試みているが、市長の見解は。

**市長** 事業仕分けによる客観的な事業主体評価と、提案による事業主体の選択という二つの長所をもっていると思われ。今後の研究課題としたい。

#### 犬の飼育管理とドッグランについて

**質問** 5年前と現在の、犬の登録件数と狂犬病予防接種数は。

**市長** 5年前は、犬の登録件数は2千56件、狂犬病予防注射接種件数は1千698件。平成18年度は、犬の登録件数が2千242件、狂犬病予防注射接種

プターを使用する事態の場合、福生市内にある「元気広場」をヘリポートとして使用する計画であると聞いている。

#### 3人目以降の子育て支援について

**質問** 出産育児一時金を35万円から50万円へ拡充することについて。

**市長** 差額の15万円は法定外の給付の

種件数は1千880件である。

**質問** 公園や空き地などで、犬のふんが時おり放置されている。市の対策は。

**市長** チラシや看板により、飼い主にマナーやふんの適正処理を呼びかけている。今後も、「広報はむら」などで啓発に努めていく。

**質問** 犬がのびのびと遊べる「ドッグラン」を設置する考えはないか。

**市長** 大規模な公園もなく、衛生面や鳴き声等の住環境への影響など、大変難しい問題であると考えている。

**質問** 正しい犬の飼い方等、専門の指導員による犬の飼い方教室を実施する考えは。

**市長** 日野市にある「東京都動物愛護センター」で無料で開催している。広報等でお知らせするとともに、羽村市でも開催するよう働きかけていく。



▲羽村市長期総合計画などの書籍



◇「羽村駅西口区画整理事業」を白紙撤回し、現状を活かしたまちづくりを求める

やまさき よういち  
山崎 陽一 議員

**質問** 地方分権改革推進法で羽村市も一層の行財政改革を求められている。行政のスリム化、効率化のためには聖域なき事業の見直しが要する。「羽村駅西口区画整理事業」の費用対効果について市民に説明すべきだ。



▲聖徳神社(羽東二丁目付近)

**市長** 国土交通省の技術指針では事業をした場合としない場合の地価の差を「便益」とし、事業費355億円で除した値を事業効果としている。西口区画整理の評価は1.43で高いものと考えられる。具体的な効果は数値的に示すことができないため、市民には事業説明会や広報紙「まちなみ」などを通じ、事業を実施していくことで、駅前広場や狭い道路の改善、商店街の活性化など具体的な事業効果を知らせている。

**質問** 区画整理事業費は355億円。市民一人あたりの負担額がどのくらいかを市民に知らせ判断を受けるべきだ。

**市長** 人口で割ると事業期間の市民一人あたり額は42万4千円。この事業は資金計画を示し、議会の議決を経て進めており、市民の判断を受けて実施している。

**質問** 反対権利者の数、反対理由について市長の認識は。

**市長** 反対者の特定や数の把握はして



◇小金井市の可燃ごみ受け入れ問題について  
◇横田基地の有害物質漏れについて  
◇「ゆとろぎ」は障がい者が使いやすいよう改善を

もんま ひでこ  
門間 淑子 議員

**小金井市の可燃ごみ受け入れ問題**

**質問** 10年間の受け入れは市民の理解が得られない。期間短縮、受け入れ中止の条件と時期についての見解は。

**市長** 契約は19年4月1日〜20年3月31日までの1年間である。小金井市が公表している新焼却施設建設計画の進捗状況等に疑義が生じた場合は、広域支援の中止または変更をすることとしており、10年間の受け入れ契約を結んだものではないとのことである。

**質問** 市長は説明会に一度も出席していないが説明責任を果たしているのか。

**市長** 西多摩衛生組合の決定事項は衛生組合が対応することであり、羽村市長として出席する責務はない。

**質問** ごみの焼却量が増え環境悪化への不安の声を聞く。公害防止のレベルアップを進めるべきではないか。

**市長** 広域支援の1万トンを加えても処理量は公害防止協定の範囲内である。環境基準及び公害防止協定に基づく



▲ごみ投入の様子(西多摩衛生組合)

目標値を超えない運転管理に努めているとのことである。

**横田基地の有害化学物質漏れについて**  
**質問** 99〜06年の間に、横田基地と関連施設で90件の有害化学物質漏れがあり、地元自治体への報告は1件のみと報じられた。その他の件について詳細

